



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY  
酪農学園大学  
<https://www.rakuno.ac.jp>



# 社会連携センター

---

2018年度 事業報告 2019年6月19日発行



サンディー

# 社会連携センター 2018年度 事業報告 目次

## 国際交流課

1. 学術交流協定	3
2. 研究者・研修員・訪問者の受け入れ	5
3. 学生の受け入れ	6
4. 学生の派遣	6
5. 外国人留学生	7
6. 青年海外協力隊派遣実績	8
7. TOEIC-IP	8
8. TOEIC対策e-learning	9
9. 北海道アルバータ酪農科学技術交流協会	9

## 地域連携課

公開講座	1. オープンアカデミー	10
	2. 提携講座	17
	3. 協力講座	17
地域総合交流事業	1. 協定一覧	18
	2. 高大連携協定一覧	19
	3. 中標津出張セミナー	20
	4. 動物愛護フェスティバル	20
ミルク産業活性化推進事業	1. プラスワン牛乳運動	21
	2. ひらめき教室	21
	3. ミルク産業活性化推進事業(学類)	22

SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み推進について	23
----------------------------	----

## 酪農PLUS+

1. ページ別アクセス状況	24
2. 日別アクセス状況	28
3. 地域別アクセス状況	28
4. デバイス別アクセス状況	29
5. 年齢・性別アクセス状況	29
6. 流入経路別アクセス状況	29
7. SNS投稿内容一覧	30
8. 共進会協賛状況	31
9. 酪農PLUS+マスコットキャラクター	32

2018年度社会連携センター運営委員会およびSTAFF	33
-----------------------------	----



## SDGsと 社会連携センター

SDGsとは2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)を意味しており、発展途上国だけではなく先進国も取り組むべき課題とされています。SDGsと大学はとても深い関係にあります。本学は建学の精神に則ってSDGsに取り組み、世界中の課題解決に向けて努力します。






# 国際交流課

## 1. 学術交流協定

2018年度は新たにベトナム・国立獣医学研究所(The National Institute of Veterinary Research)、アメリカ・パデュー大学(Purdue University)、ウガンダ・マケレレ大学(Makerere University)と協定を締結することに合意し、22カ国43機関との協定となりました。

締結年月日	機 関 名	国 名
1985.8.1	アルバータ大学	カナダ
1988.8.9	内蒙古農業大学	中国
1988.11.17	オハイオ州立大学 獣医学部とは1988.11.17に締結 食品・農業・環境科学部とは1998.12.17に締結	アメリカ
1991.6.3	コーネル大学 畜産学部	アメリカ
1994.5.19	ワルシャワ農業大学	ポーランド
1994.10.14	国立韓京大学校（旧安城産業大学）	韓国
1995.2.15	デンマーク国立畜産研究所	デンマーク
1997.7.31	新疆農業大学	中国
1997.11.30	国立嘉義大学	台湾
1998.5.7	オールズカレッジ	カナダ
1998.8.31	国立屏東科技大学	台湾
2001.1.22	ハノーバー獣医科大学	ドイツ
2001.10.31	韓国食品開発研究院	韓国
2002.2.4	東フィリピン大学 獣医学部 全学とは2015.3.2に締結	フィリピン
2002.2.16	内蒙古民族大学	中国
2005.4.11	フィンドレー大学	アメリカ
2006.7.24	サスカチュワン大学	カナダ
2007.8.15	国立中興大学	台湾
2007.10.25	サムヒギンボトム農業科学技術大学 （旧アラハバード農業大学）	インド
2009.3.23	モンゴル生命科学大学（旧モンゴル国立農業大学） 獣医学研究所とは2017.8.21に締結	モンゴル
2009.12.15	国立韓国農水産大学	韓国
2009.12.25	国立バイオセンター	カザフスタン
2009.12.26	アルファラビカザフ国立大学	カザフスタン
2011.2.22	アスンシオンカトリック大学	パラグアイ
2011.8.24	サバ大学 熱帯生物保全研究所 全学とは2016.4.13に締結	マレーシア
2012.1.20	陝西省動物研究所	中国
2012.2.17	国際家畜研究所	ケニア
2012.8.18	フスタイ国立公園	モンゴル

締結年月日	機 関 名	国 名
2013.4.18	スイス科学研究所	コートジボワール
2013.9.23	マヒドン大学 熱帯医学部 獣医学部とは2015.11.25に締結	タイ
2013.9.27	ハノイ公衆衛生大学	ベトナム
2013.10.7	ミャンマー獣医科学大学	ミャンマー
2014.2.28	チュラーロンコーン大学	タイ
2014.3.3	カセサート大学	タイ
2014.6.16	ロシア極東農業大学	ロシア
2014.7.29	ベトナム国立農業大学	ベトナム
2015.2.24	グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学インスティテュート	イギリス
2015.3.25	タイ王国保健省医科学局	タイ
2015.4.28	コンケン大学	タイ
2016.3.22	タマサート大学	タイ
2019.1.28	ベトナム国立獣医学研究所 	ベトナム
2019.1.29	パデュー大学 	アメリカ
2019.3.29	マケレレ大学 	ウガンダ

## 2. 研究者・研修員・訪問者の受け入れ

① 海外招聘研究者として**4名**の研究者を受け入れました。

所属機関（協定）	研究者氏名	受入期間	担当教員
タイ・コンケン大学	Dr. Raneer Singh	4/24 - 7/18	獣医 萩原
モンゴル・モンゴル生命科学大学	Dr. Boldbaatar Bazartseren	5/7 - 8/1	獣医 萩原
コトジボワール・スイス科学研究所	Dr. Bassirou Bonfoh	8/28 - 12/15	獣医 蒔田
モンゴル・フスタイ国立公園	Mr. Uuganbayar Ganbold	10/21 - 1/19	環境 星野

また、2019年度招聘研究者の募集を行い、4名の応募者から3名の受入を決定しました。

② 協定機関、日本学術振興会、日本獣医師会等から**17名**の研究者および担当者の訪問を受け入れました。

所属機関	種別	目的	受入期間	担当教員
台湾・全国動物病院グループ	日本獣医師会	研究	4/10 - 3/20	獣医 村松
カナダ・アルバータ大学	JSPS	研究	5/11 - 1/9	獣医 及川
韓国・忠南大学	JSPS	研究	7/3 - 8/16	食 竹田
カナダ・アルバータ大学（2名）	協定	表敬	10/25	国際交流
モンゴル・科学院 地理と地質生態研究所	協定外	表敬	11/22	環境 星野
南アフリカ・南アフリカ共和国農業研究機構（4名）	JSPS	研究	12/8 - 12/14	獣医 蒔田
タイ・マヒドン大学	協定	研究	1/7 - 1/10	獣医 萩原
カナダ・サスカチュワン大学	協定	研究	2/7 - 2/14	循環 堂地
南アフリカ・南アフリカ共和国農業研究機構	JSPS	研究	2/12 - 3/13	獣医 蒔田
ベトナム・ILRI（ハノイ）	協定	研究	2/27 - 3/2	獣医 蒔田
ベトナム・国立獣医学研究所	協定	研究	2/27 - 3/2	獣医 蒔田
ウガンダ・マケレレ大学	協定	研究	3/17 - 3/20	獣医 蒔田
タイ・コンケン大学	協定	表敬	3/20	学長、萩原

③ JICA研修として日系研修**2名**、集団研修（課題別研修）**12名**を受け入れました。

所属機関	種別	人数	受入期間	担当教員
ブラジル	日系研修「食品科学と栄養管理」	1名	5/22 - 3/1	食 石井
ブラジル	日系研修「GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価および野生動物生息地の管理手法」	1名	5/22 - 3/1	環境 金子
6カ国	集団研修「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理コース」	6名	5/14 - 6/22	環境 金子
6カ国	集団研修「森林リモートセンシングコース」	6名	8/20 - 10/5	環境 金子

以上、**35名**を受け入れました。

### 3. 学生の受け入れ

フィンドレー大学、カセサート大学、サバ大学など協定校を中心に**29名**の学生を受け入れました。

所属機関	種別	人数	受入期間	担当教員	
アメリカ・フィンドレー大学	協定	5名	5/17 - 6/8	保健	国際交流
マレーシア・サバ大学	協定	8名	6/29 - 9/13	環境	金子
タイ・カセサート大学	協定	1名	6/25 - 6/27	獣医	能田
タイ・コンケン大学	協定	3名	7/1 - 7/14	医療センター	
オランダ・ワゲニンゲン大学	奨学金	1名	8/31 - 1/5	獣医	蒔田
タイ・カセサート大学	単位互換	5名	9/23 - 12/16	獣医	
台湾・中興大学	協定	1名	1/16 - 2/1	動物医療センター	
台湾・屏東科技大学（引率2名）	協定	4名	1/21 - 2-19	環境	金子
タイ・コンケン大学	協定	1名	2/9 - 5/9	獣医	萩原

### 4. 学生の派遣

#### ① 国際交流課プログラム【9名】

派遣先	プログラム種別	人数	派遣期間	所属・学年	
アメリカ・フィンドレー大学	2017年度 ベケット奨学金派遣留学プログラム	1名	2017/8/15 - 2018/5/15	獣医	5
アメリカ・フィンドレー大学	2018年度 ベケット奨学金派遣留学プログラム	1名	2018/8/14 - 2019/5/8	循環	2
カナダ・アルバータ大学	集中英語プログラム	2名	2018/8/24 - 9/22	環境	3, 4
カナダ	海外農業研修	1名	2018/8/24 - 9/22	循環	3
タイ・カセサート大学	獣医単位互換プログラム	1名	2018/9/11 - 12/2	獣医	5
アメリカ・フィンドレー大学	ベーシック・アニマルハンドリングP	3名	2019/3/11 - 4/2	循環 獣医	2 1, 3

#### ② トビタテ！留学JAPAN【3名】

派遣先		人数	派遣期間	所属・学年	
カナダ / ガーナ	サスカチュワン大学 / Veterinary Service Office	1名	2017/9/8 - 2018/9/18	獣医	3
ウガンダ	ムバララ県獣医事務所	1名	2018/10/14 - 2019/8/31	獣医	5
ニュージーランド	マッセー大学	1名	2019/3/29 - 2019/10/27	院獣	4

③その他協定機関派遣(実習・調査等)**【73名】**

派遣先	種別	人数	受入期間	担当教員	
モンゴル・フスタイ国立公園	卒論調査	8名	4/20 - 5/4	環境	星野
マレーシア・サバ大学	実習	12名	8/15 - 8/29他	環境	立木金
モンゴル・フスタイ国立公園	実習・調査	13名	8/16 - 8/29他	環境	星野
マレーシア・サバ大学	語学留学	1名	8/27 - 2/21	国際交流	
中国・内蒙古民族大学	専門演習	11名	9/19 - 9/28	環境	森(夏)
マレーシア・サバ大学	短期留学	1名	1/8 - 3/18	環境	金子
マレーシア・サバ大学	実習	21名	2/15 - 2/27他	環境	金子
台湾・屏東科技大学	短期留学	4名	2/17 - 3/20他	環境	金子
モンゴル・フスタイ国立公園	調査	2名	2/22 - 3/3	環境	星野

※2018年度はモンゴル・フスタイ国立公園へ23名、マレーシア・サバ大学へ35名、内蒙古民族大学へ11名、台湾・屏東科技大学へ4名の、4機関へ計73名を派遣しました。

④ 協定機関以外の派遣(学会・ゼミ研修旅行・調査等)**【61名】**

⑤ 農業研修(JAEC, JCIA, 農業公社等)**【5名】**

デンマーク(1年/JAEC)、オランダ(1年/JAEC)、アメリカ(1年半/JAEC)、ニュージーランド(半年/農業公社)、  
ニュージーランド(1ヶ月/JCIA)

以上、**151名**を派遣しました。

## 5. 外国人留学生

2018年10月1日現在

分類	人数	出身国
学部生	8名	中国、韓国、台湾
大学院生【修士】	11名	中国、韓国、スウェーデン
大学院生【博士】	4名	中国
研究生	7名	中国、モンゴル

## 6. 青年海外協力隊派遣実績

2018年12月現在

	獣医・衛生	家畜飼育	野菜	養鶏	飼料作物	理科教育	農産物加工	コミュニテイ開発	農業協同組合	乳製品加工	食品加工	食用作物・稲作	農業機械	環境教育	土壌肥料	公衆衛生	養護	病虫害	動物学	土質検査	生態調査	視聴覚教育	家政・生活改善	栄養士	きのこ	エイズ・感染症対策	統計	市場調査	青少年活動	合計	
循環農学類 (旧酪農学科、農業経済学科、短大含む)		51	7	6	6	5	3	5	5	3	1	4	2	1	1		1	1		1	1	1	1		2		1			109	
食と健康学類 (旧食品学科、食品流通学科含む)		2				2	3			1	3					1								2						14	
環境共生学類 (旧経営環境学科、地域環境学科、生命環境学科含む)						3		4						11												1				19	
獣医学類 (獣医学科含む)	60	2		1		1									2														1	69	
獣医保健看護学類																														0	
大学院	34	4												2	1									1				1		43	
合計	94	59	7	7	6	11	6	9	5	4	4	4	2	16	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	254
うち、2018年12月現在派遣中の人数		2	1			1		1						4										2						11	

## 7. TOEIC-IP

	試験日	申込締切日	結果返却日
第49回	5月12日(土)	5月11日(金)18時	5月29日(火)
第50回	6月23日(土)	6月22日(金)18時	7月10日(火)
第51回	10月20日(土)	10月19日(金)18時	11月6日(火)
第52回	12月1日(土)	11月30日(金)18時	12月18日(火)
第53回	1月19日(土)	1月18日(金)18時	2月5日(火)

### 2018年度スコア結果の推移

	~299	300~399	400~499	500~599	600~699	700~799	800~	受講者数	平均スコア
2018年5月	3	7	4	1	4	1	0	20	441
2018年6月	3	5	3	3	1	0	1	16	447
2018年10月	2	5	5	3	0	0	1	16	432
2018年12月	0	4	4	4	2	0	1	15	504
2019年1月	3	3	1	8	1	0	1	17	456

	~299	300~399	400~499	500~599	600~699	700~799	800~	受講者数	平均スコア
2018年度	11	24	17	19	8	1	4	84	455



## 8. TOEIC対策e-learning

TOEICのスコア向上対策として、ニューブレインアライアンス社のe-learning教材とTOEICリスニング講座を**6,000円にて67名**（学生64名、教職員3名）に提供しました。

進捗率70%を超えた場合は、2月にキャリアセンターより資格取得支援として3,000円を返金してもらえましたが、今回、**70%を超えた学生は2名**のみでした。

リスニング講座は、当初、週1回行っていましたが、授業の関係等から出席者は毎回数名でした。

モチベーションが続かない学生が多く、2020年に向けて英語の授業で扱ってもらい、何らかの形で評価に加えてもらう等、学生がe-learningを続けて英語の実力を養い、TOEICで良いスコアを取ることができる仕組みを作っていきます。

11月29日には、e-learningによる英検学力測定テストを実施しました。35名（学生33名、教職員2名）が申し込み、そのうち**29名**が受験し、自分の英語力が英検何級程度であるのかを把握することができました。

## 9. 北海道アルバータ酪農科学技術交流協会

◎7月2日に理事会、定期総会留学報告会を開催し、27名が参加しました。

### ◎学生派遣

短期（2018.8.24～9.22）

- ・アルバータ大学夏季研修プログラム英語研修コース **2名**
- ・海外農業研修サポートプログラム **1名**

長期（2018.4.23～）

- ・アルバータ大学インテンシブ・デイ・プログラム **1名**

また、2019年度から高校生留学サポートプログラム（アルバータ大学、夏季、2週間）を開始することが、総会で承認されました。



# 地域連携課

## 公開講座

### 1. オープンアカデミー

#### 酪農学園大学市民公開講座【418名】

農業・食品・環境・獣医・獣医看護についての研究成果を、知的財産の提供や卒後教育に役立てていただくことを目的として、「市民公開講座」を開講しています。

開催日	講座名	講師	受講料	定員	受講者
4月14日（土）	ガーデニング講座Ⅰ 「野菜、草花の種まきと育苗、畑の土づくり（連作障害を防ぐ）」	長谷川 豊	1,500円	30名	38名
6月9日（土）	食育・健康講座Ⅰ 「新日本型食生活～ミルクマジックで乳和食～」	宮崎 早花	1,500円	40名	12名
6月17日（日）	人と動物の素敵な関係講座 「動物園、水族館獣医師とその飼育動物の健康維持に関する講座」 「あの時やっておけばよかった！とっても大切な子犬と子猫のしつけ」	浅川 満彦 郡山 尚紀	1,000円	50名	29名
6月23日（土）	食育・健康講座Ⅱ 「食べることと世界～発酵はスゴイ～」 「今からでも遅くない！ラクラク筋トレ講座」	石井 智美 柴田 啓介	1,000円	50名	25名
7月1日（日）	ガーデニング講座Ⅱ 「整枝剪定が作物の生育に与える影響、生育と追肥の関係」	長谷川 豊	1,500円	30名	37名
7月14日（土）	たのしい理科実験講座Ⅰ 「たのしい理科工作・実験講座」 「ブロッコリーからDNAを抽出してみよう。そしてDNAを身近に感じてみよう」	馬場 賢治 我妻 尚広	無料	50名	29名
7月29日（日）	たのしい理科実験講座Ⅱ 「体のしくみを知ろう」 「アッと驚く身近な化学実験」	岩野 英知 玉利 和弘	無料	50名	34名
9月8日（土）	食育・健康講座Ⅲ 「これだけは摂りたい毎日の食事～たんぱく質を加えるひと工夫～」	杉村留美子	1,500円	40名	中止
9月15日（土）	楽しい運動・健康講座 「楽しい身体活動・健康講座～体格・体組成と身体活動～」	山口 太一 多賀寿未代	1,000円	30名	17名
9月30日（日）	円山動物園体験講座 「アフリカの野生動物と人の暮らし」	郡山 尚紀	1,000円	30名	27名
10月13日（土）	園芸学講座 「花の見方・楽しみ方～秋にユリを咲かせる技術とは～」	森 志郎	1,000円	30名	14名
11月10日（土）	教育心理学講座 「虐待、体罰、DVが脳と心とに与える影響～愛着障害を考えながら～」	須賀 朋子	1,000円	50名	10名
12月1日（土）	獣医の卵たちによる勉強会（前編） 「獣医の卵たちによる爬虫類と哺乳類の勉強会（前編）」	浅川 満彦 学生3名	無料	50名	44名
12月2日（日）	獣医の卵たちによる勉強会（後編） 「獣医の卵たちによる爬虫類と哺乳類の勉強会（後編）」	浅川 満彦 学生4名	無料	50名	39名

開催日	講座名	講師	受講料	定員	受講者
2月22日（土）	家庭菜園講座 「彩り野菜の育て方～トマトとアスパラガスを中心に～」 「おいしいマメ類とスイートコーンの作り方」	園田 高広 義平 大樹	1,000円	80名	本学 58名 余市 5名

## 酪農公開講座【233名】

全国の酪農生産者および酪農関係者を対象に、本学の研究成果を直接酪農家へフィードバックすることを目的に北海道内および都府県で各1回の「酪農公開講座」を開講しています。

開催日	講座名	講師	開催地	定員	受講者
10月2日（火）	第55回酪農公開講座（北海道命名150年記念）『北海道酪農の歴史と未来』 「北海道150年と酪農の歴史～バイオニアと地上の星のスピリットを今に～」 「スマート酪農の展開～飼料生産、乳生産の省力化、自動化～」 「スマート酪農の展開 ～ドローンや衛星画像技術の農地管理への利活用について～」	安宅 一夫 小宮 道士 小川 健太	札幌市	250名	172名
12月14日（金）	第56回酪農公開講座『地域と酪農の未来を考える』 「地域と共存する酪農をめざしてー臭気・ふん尿はどうする？ー」 「北海道の酪農をサポートする農業協同組合の存在意義」	高橋 圭二 井上 誠司	岩手県	150名	61名

## 酪農学園大学公開講座【49名】

本学の研究成果を生産者や関係機関、全国の消費者の方々に向けて発信することを目的に、都府県で「酪農学園大学公開講座」を開講しています。

開催日	講座名	講師	開催地	定員	受講者
12月12日（水）	第13回酪農学園大学公開講座『北海道における食品加工をめぐる動き』 「北海道の美味しい食材を首都圏に届ける高鮮度保持・高付加価値化技術」 「においと骨…魚離れの原因を解決！～魚をもっと食べてもらう提案～」	阿部 茂 吉川 修司	東京都	100名	49名

## 大動物継続教育合同セミナー【延べ281名】

大動物臨床研究会との合同企画で、獣医師、学生、関連企業を対象に、卒後臨床教育事業の一環として、1日目に大動物臨床研究会主催の「大動物臨床研究会特別セミナー」を、2日目に本学社会連携センター主催の「大動物臨床教育セミナー」を開催しています。

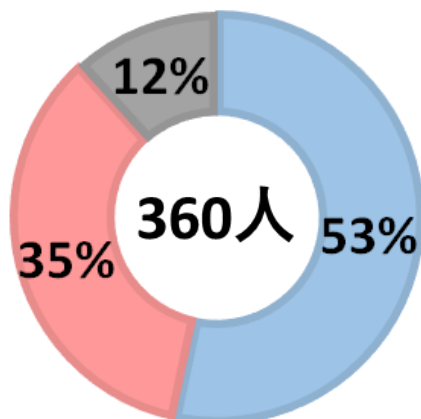
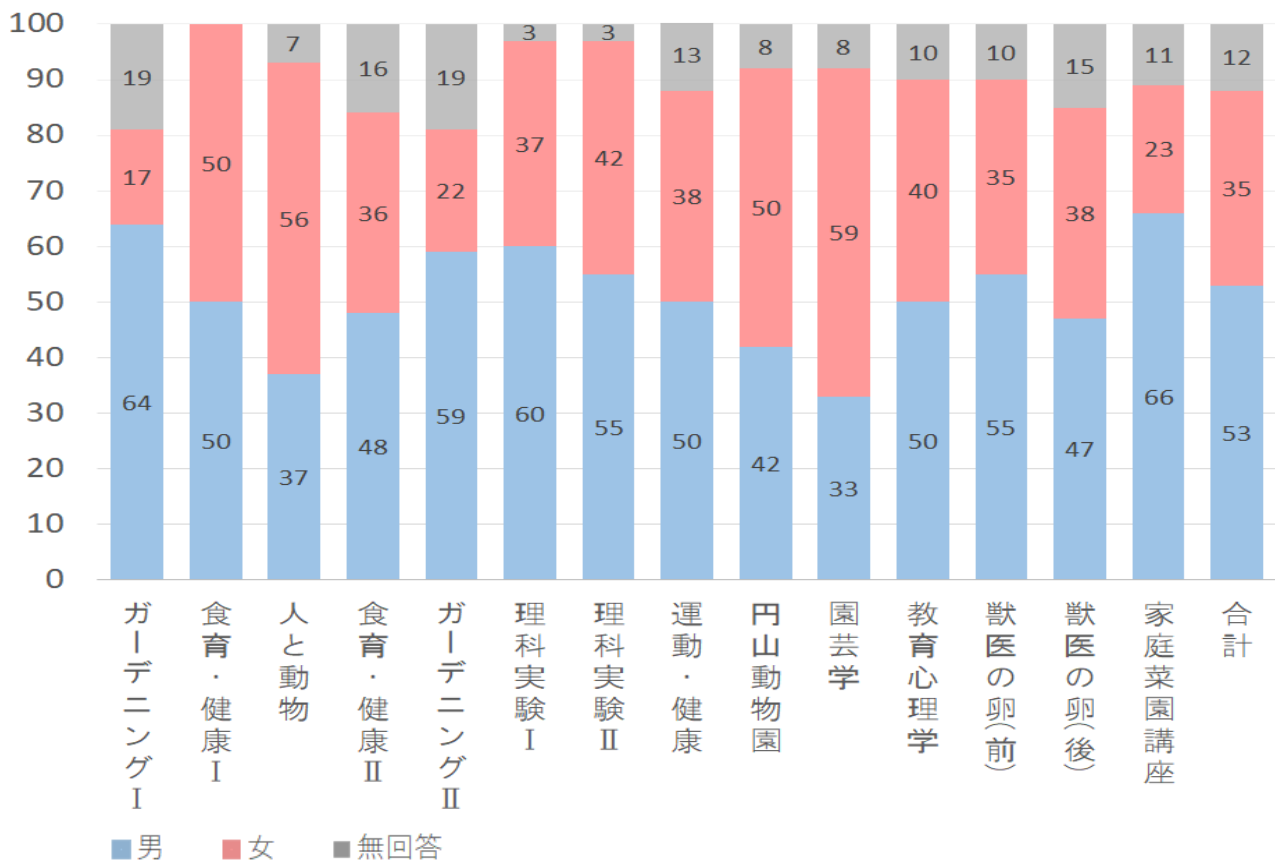
開催日	講座名	講師	受講料	受講者
5月25日（金）	第13回大動物臨床研究会特別セミナー『子牛の管理について』 「子牛管理～初乳給与と哺乳期の管理～」 「離乳前後の子牛の管理について」 「受動免疫移行不全の要因調査」	大坂 郁夫 福森 理加 本田 祥子	会員 3,000円	187名
5月26日（土）	第22回大動物臨床教育セミナー『ウシの一生における管理PartIX～蹄病を考える～』 「蹄底潰瘍の原因に迫る。蹄骨沈下説は本当か？」 「蹄病の発生する牛群コントロール」	石川 高明 安富 一郎	非会員 5,000円	

## 酪農学園大学市民公開講座アンケート集計結果

### 受講者男女比

(%)

講座	ガーデニングⅠ	食育・健康Ⅰ	人と動物	食育・健康Ⅱ	ガーデニングⅡ	理科実験Ⅰ	理科実験Ⅱ	運動・健康	円山動物園	園芸学	教育心理学	獣医の卵(前)	獣医の卵(後)	家庭菜園講座	合計
男	64	50	37	48	59	60	55	50	42	33	50	55	47	66	53
女	17	50	56	36	22	37	42	38	50	59	40	35	38	23	35
無回答	19	0	7	16	19	3	3	13	8	8	10	10	15	11	12



2018年度市民公開講座アンケート回答者数 360名

男性 192名

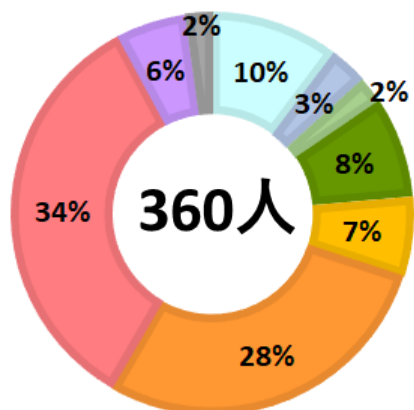
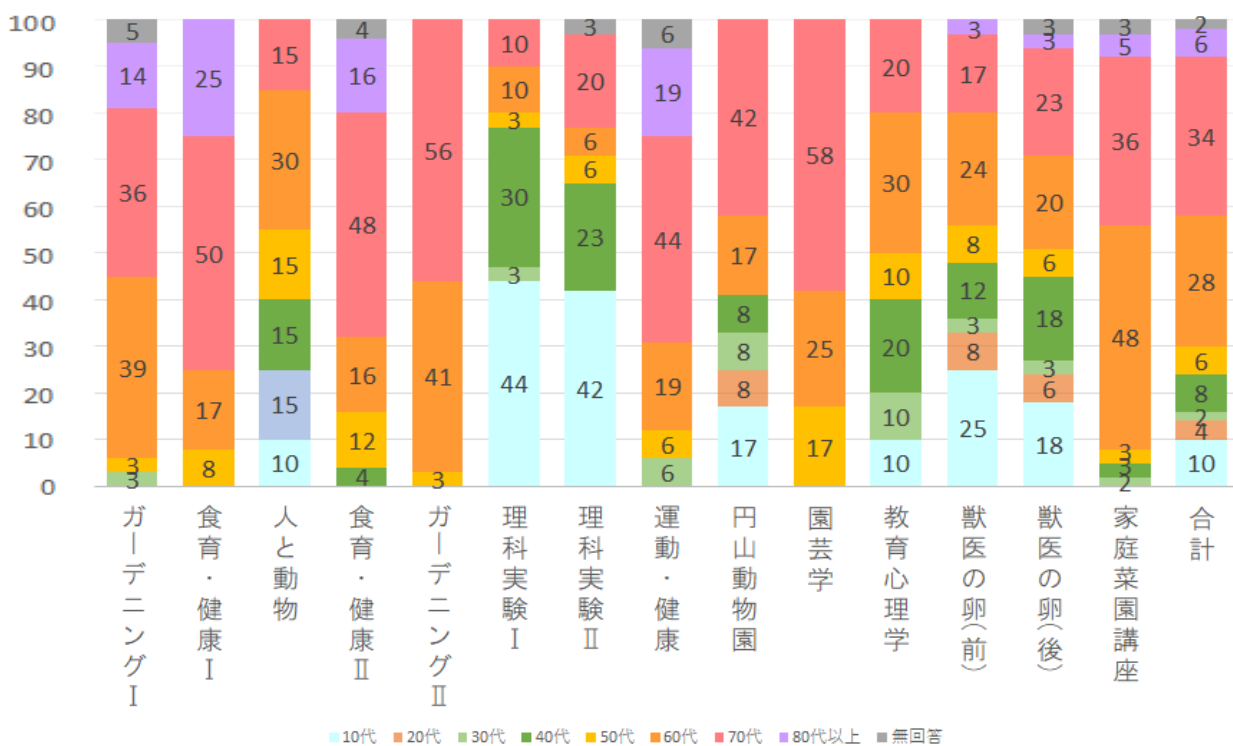
女性 126名

無回答 42名

受講者年代

(%)

	ガーデニングⅠ	食育・健康Ⅰ	人と動物	食育・健康Ⅱ	ガーデニングⅡ	理科実験Ⅰ	理科実験Ⅱ	運動・健康	円山動物園	園芸学	教育心理学	獣医の卵(前)	獣医の卵(後)	家庭菜園講座	合計
10代	0	0	10	0	0	44	42	0	17	0	10	25	18	0	10
20代	0	0	15	0	0	0	0	0	8	0	0	8	6	0	4
30代	3	0	0	0	0	3	0	6	8	0	10	3	3	2	2
40代	0	0	15	4	0	30	23	0	8	0	20	12	18	3	8
50代	3	8	15	12	3	3	6	6	0	17	10	8	6	3	6
60代	39	17	30	16	41	10	6	19	17	25	30	24	20	48	28
70代	36	50	15	48	56	10	20	44	42	58	20	17	23	36	34
80代以上	14	25	0	16	0	0	0	19	0	0	0	3	3	5	6
無回答	5	0	0	4	0	0	3	6	0	0	0	0	3	3	2



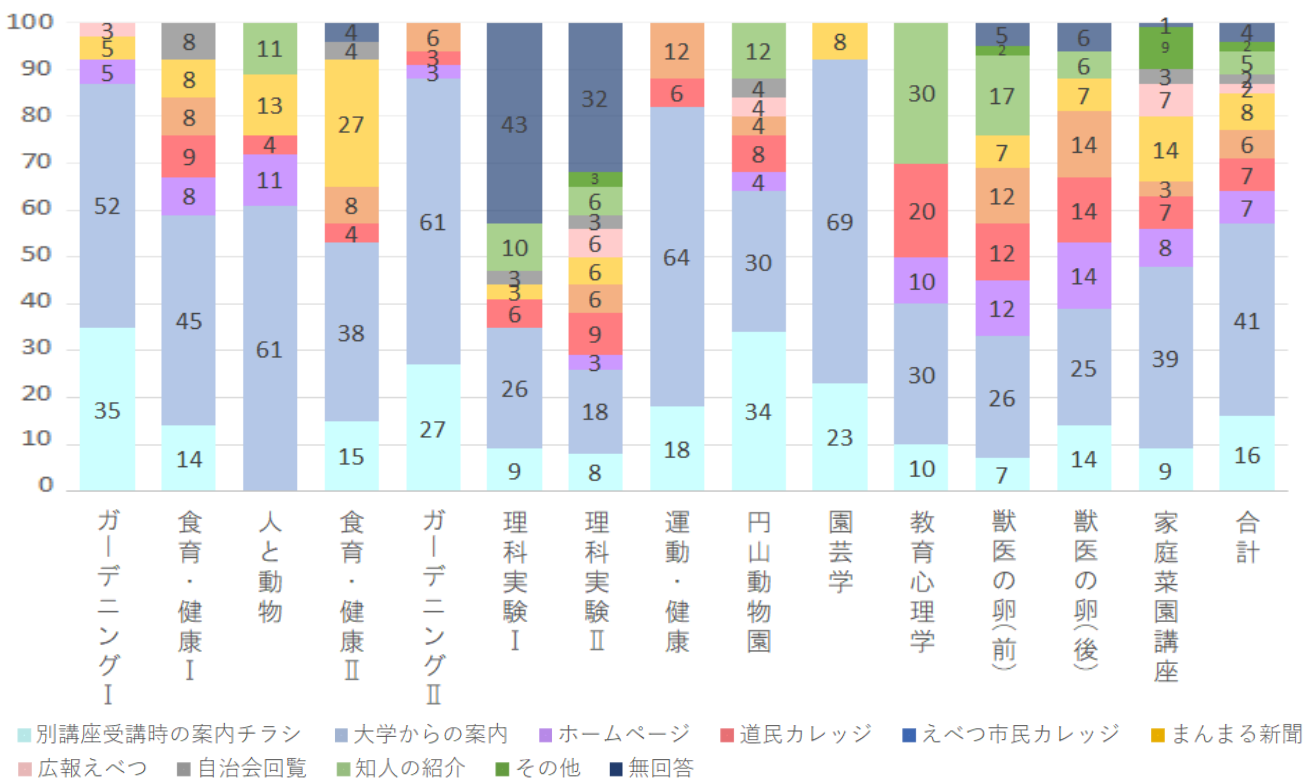
2018年度市民公開講座アンケート回答者数 360名

10代	37名	20代	11名
30代	8名	40代	29名
50代	23名	60代	102名
70代	122名	80代以上	20名
無回答	8名		

講座を知った媒体

(%)

	ガーデニングⅠ	食育・健康Ⅰ	人と動物	食育・健康Ⅱ	ガーデニングⅡ	理科実験Ⅰ	理科実験Ⅱ	運動・健康	円山動物園	園芸学	教育心理学	獣医の卵(前)	獣医の卵(後)	家庭菜園講座	合計
別講座受講時の案内チラシ	35	14	0	15	27	9	8	18	34	23	10	7	14	9	16
大学からの案内	52	45	61	38	61	26	18	64	30	69	30	26	25	39	41
ホームページ	5	8	11	0	3	0	3	0	4	0	10	12	14	8	7
道民カレッジ	0	9	4	4	3	6	9	6	8	0	20	12	14	7	7
えべつ市民カレッジ	0	8	0	8	6	0	6	12	4	0	0	12	14	3	6
まんまる新聞	5	8	13	27	0	3	6	0	0	8	0	7	7	14	8
広報えべつ	3	0	0	0	0	0	6	0	4	0	0	0	0	7	2
自治会回覧	0	8	0	4	0	3	3	0	4	0	0	0	0	3	2
知人の紹介	0	0	11	0	0	10	6	0	12	0	30	17	6	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	9	2
無回答	0	0	0	4	0	43	32	0	0	0	0	5	6	1	4



2018年度市民公開講座アンケート回答者数 360名  
(複数回答 19件)

別講座受講時の案内チラシ	61名	大学からの案内	154名
ホームページ	25名	道民カレッジ	26名
えべつ市民カレッジ	22名	まんまる新聞	32名
広報えべつ	8名	自治会回覧	6名
知人の紹介	20名	その他	8名
無回答	17名		

講師満足度

(%)

		長谷川先生	宮崎先生	浅川先生	郡山先生	石井先生	柴田先生	長谷川先生	馬場先生	我妻先生	岩野先生	玉利先生	山口先生	郡山先生	森先生	須賀先生	園田先生	義平先生	合計
説明	大変わかりやすかった	58	92	48	41	56	48	66	47	82	65	55	56	50	67	60	52	28	53
	わかりやすかった	39	8	41	44	28	40	34	47	18	35	30	31	33	17	40	43	39	36
	普通	3	0	7	4	8	0	0	6	0	0	10	0	13	8	0	3	17	6
	少しわかりづらかった	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	0	0	0	10	2
	わかりづらかった	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	11	4	12	0	0	0	0	5	6	0	8	0	2	6	6
資料	大変わかりやすかった	47	75	30	26	40	36	47	29	53	45	50	38	38	58	50	46	30	41
	わかりやすかった	42	25	59	63	24	40	44	59	35	40	30	44	38	33	40	44	49	43
	普通	11	0	7	0	20	12	6	6	6	15	15	6	25	8	0	6	15	10
	少しわかりづらかった	0	0	4	0	0	0	3	0	6	0	0	6	0	0	0	2	0	1
	わかりづらかった	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	11	12	12	0	6	0	0	5	6	0	0	10	2	6	4

(%)

	説明						資料					
	大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	少しわかりづらかった	わかりづらかった	無回答	大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	少しわかりづらかった	わかりづらかった	無回答
長谷川先生	58	39	3	0	0	0	47	42	11	0	0	0
宮崎先生	92	8	0	0	0	0	75	25	0	0	0	0
浅川先生	48	41	7	4	0	0	30	59	7	4	0	0
郡山先生	41	44	4	0	0	11	26	63	0	0	0	11
石井先生	56	28	8	0	4	4	40	24	20	0	4	12
柴田先生	48	40	0	0	0	12	36	40	12	0	0	12
長谷川先生	66	34	0	0	0	0	47	44	6	3	0	0
馬場先生	47	47	6	0	0	0	29	59	6	0	0	6
我妻先生	82	18	0	0	0	0	53	35	6	6	0	0
岩野先生	65	35	0	0	0	0	45	40	15	0	0	0
玉利先生	55	30	10	0	0	5	50	30	15	0	0	5
山口先生	56	31	0	6	0	6	38	44	6	6	0	6
郡山先生	50	33	13	4	0	0	38	38	25	0	0	0
森先生	67	17	8	0	0	8	58	33	8	0	0	0
須賀先生	60	40	0	0	0	0	50	40	0	0	0	10
園田先生	52	43	3	0	0	2	46	44	6	2	0	2
義平先生	28	33	17	10	0	6	30	49	15	0	0	6
全体	53	36	6	2	0	6	41	43	10	1	0	4

2018年度市民公開講座アンケート回答者数 442名 ※1講座につき複数講師の講座もある為、他の回答者数とは異なる。

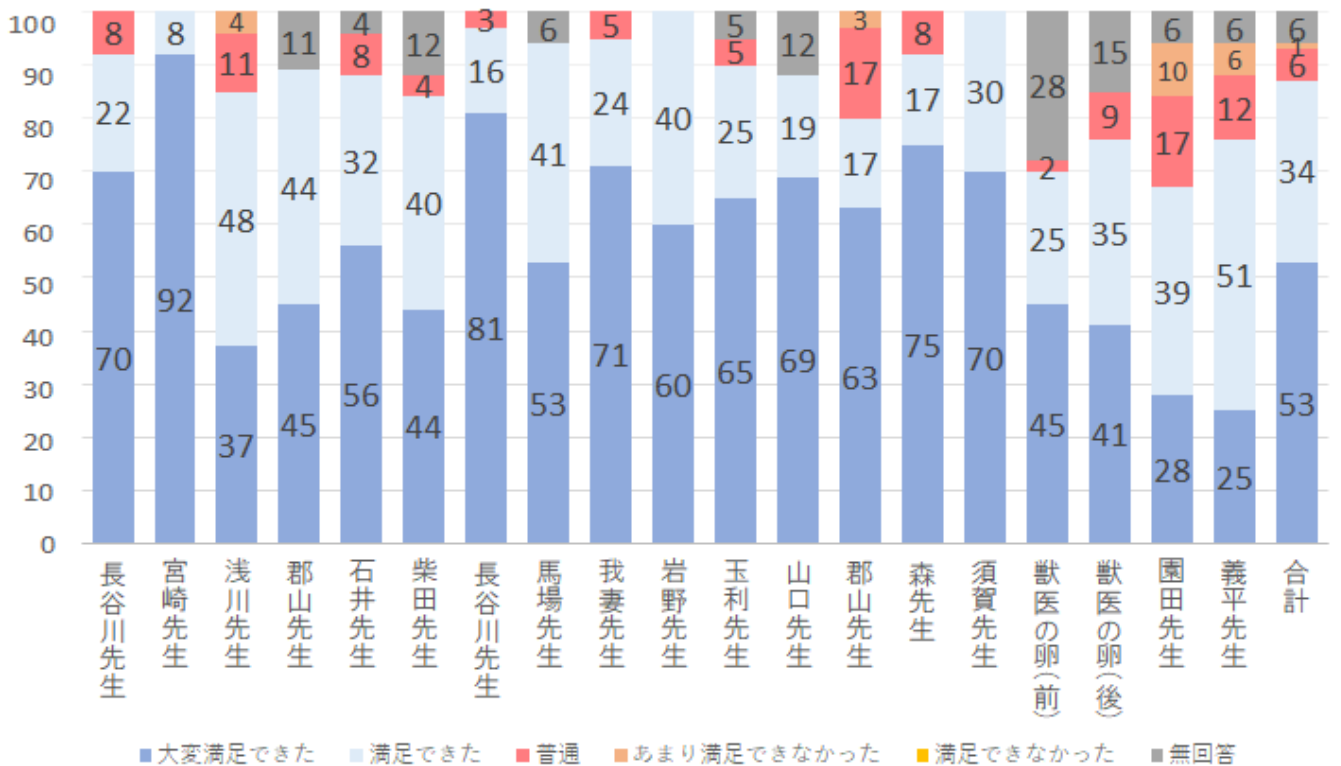
説明	大変わかりやすかった	233名	資料	大変わかりやすかった	181名
	わかりやすかった	159名		わかりやすかった	192名
	普通	25名		普通	45名
	少しわかりづらかった	9名		少しわかりづらかった	5名
	わかりづらかった	1名		わかりづらかった	1名
	無回答	15名		無回答	18名



講師別講座満足度

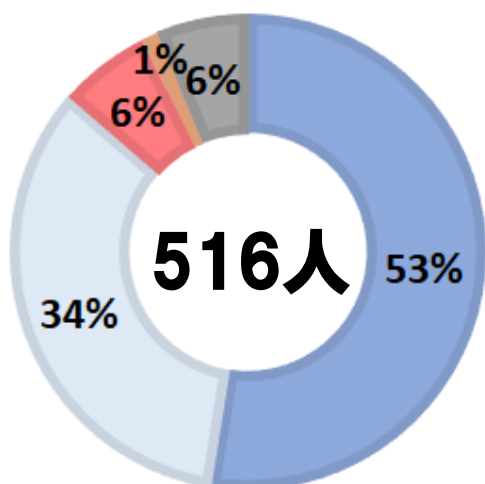
(%)

	長谷川先生	宮崎先生	浅川先生	郡山先生	石井先生	柴田先生	長谷川先生	馬場先生	我妻先生	岩野先生	玉利先生	山口先生	郡山先生	森先生	須賀先生	獣医の卵(前)	獣医の卵(後)	園田先生	義平先生	合計
大変満足できた	70	92	37	45	56	44	81	53	71	60	65	69	63	75	70	45	41	28	25	53
満足できた	22	8	48	44	32	40	16	41	24	40	25	19	17	17	30	25	35	39	51	34
普通	8	0	11	0	8	4	3	0	5	0	5	0	17	8	0	2	9	17	12	6
あまり満足できなかった	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	10	6	1
満足できなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	11	4	12	0	6	0	0	5	12	0	0	0	28	15	6	6	6



2018年度市民公開講座アンケート回答者数 516名

※1講座につき複数講師の講座もある為、他の回答者数とは異なる。



大変満足できた	271名
満足できた	175名
普通	32名
あまり満足できなかった	6名
満足できなかった	0名
無回答	32名



## 2. 提携講座

### 栗山キッズクラブ【43名】

2007年に栗山町と本学で締結された地域総合交流協定に基づき、7月8日に開催された「白樺祭」に、栗山町より**小学生31名、中学生10名、研修生2名**が訪れ、本学の教職コースの2年生13名が対応にあたり、1ヶ月前より準備していたプログラムを実施しました。

当日のプログラム

- ・消火栓めぐり ・乗馬体験 ・羊とのふれあい体験 ・トマト、キュウリの収穫体験



## 3. 協力講座

### 第21回 元気！ミルク大学【40名】

北海道牛乳普及協会とホクレン農業協同組合が主催で、8月10日から13日までの3泊4日で「元気！ミルク大学」を開催しました。

小学5、6年生**40名**が参加し、本学構内をキャンパスに、共同生活、共同作業を行い、最終日に卒業式・ミルク大使認定式を行いました。



### ふるさと江別塾【60名】

江別市と江別市教育委員会が主催となり、大学の「知」を生かし、まちづくりや身近な問題の学習機会として、市内四大学が連携して実施する「ふるさと江別塾」の第2回を10月20日に開催し、近郊の一般市民**60名**が受講しました。

講義1 「美味しい牛乳や牛肉を生産するために牛は改良されてきた」

講師：堂地 修

講義2 「地域の畜産衛生管理について～日本の畜産を守ろう～」

講師：高橋 俊彦



以上、公開講座では、オープンアカデミー、提携講座、協力講座あわせて、**21講座、39講義**を開講し、**1,124名**に受講・参加いただきました。

# 地域総合交流事業

## 1. 協定一覧

No.	協定機関	協定調印日	協定内容
1	浜中町	2005.02.24	地域総合交流
2	栗山町	2007.02.26	地域総合交流
3	西興部村	2007.05.21	地域総合交流
4	公益財団法人 道央農業振興公社	2007.10.31	地域総合交流
5	江別市	2009.02.05	包括連携
	市内3大学		
	江別商工会議所		
6	道総研 食品加工研究センター	2009.03.10	包括連携
7	北海道大学	2009.06.04	知財等連携
8	洞爺湖町	2009.07.29	地域総合交流
9	公益財団法人 北海道農業公社	2010.01.14	包括連携
10	北海道ホルスタイン農業協同組合	2010.02.19	包括連携
	公益社団法人 北海道酪農検定検査協会	(2013.02.19変更)	
	一般社団法人 ジェネティクス北海道		
11	GIS関連団体3者との包括協定	2010.06.03	包括連携
12	公益財団法人 札幌市公園緑化協会	2010.08.18	連携協力
13	滝上町	2010.09.10	地域総合交流
14	北海道情報大学	2011.03.10	大学教育・研究連携
15	標茶町	2011.04.13	地域総合交流
	標茶町農業協同組合		
	北海道標茶高等学校		
16	公益財団法人 知床財団	2011.06.15	包括連携
17	占冠村	2011.06.06	地域総合交流
18	旭川市（旭山動物園）	2011.09.05	包括連携
19	遠軽町	2012.06.25 (2013.03.18変更)	地域総合交流
	湧別町		
	佐呂間町		
	オホーツク農業共済組合		
	えんゆう農業協同組合		
	湧別町農業協同組合 佐呂間町農業協同組合		
20	株式会社北海道銀行	2012.10.02	包括連携
21	札幌グランドホテル	2012.10.31	包括連携
22	北海道※ 学校法人酪農学園との協定	2014.10.30	包括連携
23	中標津町	2015.2.23	地域総合交流
	中標津町教育委員会		
	中標津町農業協同組合		
	計根別農業協同組合		
	北海道中標津農業高等学校		
24	北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部	2015.3.16	包括連携
25	札幌市	2015.7.9	連携協力
26	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	2016.1.29	連携協力
27	一般財団法人 北海道農業協同組合学校	2017.3.16	包括連携
28	北海道ワイン株式会社	2017.9.20	包括連携
29	生活協同組合コープさっぽろ	2017.9.21	包括連携
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5 農業共済組合	2019.2.22	包括連携

## 2. 高大連携協定一覧

No.	協定高校	協定調印日	協定内容
1	北海道清水高等学校	2008.02.18	高大連携事業
2	北海道士幌高等学校	2008.07.31	高大連携事業
3	北海道札幌東高等学校	2009.03.06	高大連携事業
4	札幌市立高等学校9校	2009.03.16	高大連携事業
5	北海道岩見沢農業高等学校	2013.03.25	高大連携事業

### 高大連携協定による講義・講座

#### 北海道清水高等学校「集中講義」

日時	所属	講師
6月1日（金）	農食環境学群	松山 周平
7月21日（土）～22日（日）	農食環境学群	松山 周平
12月21日（金）	農食環境学群	松山 周平

#### 北海道札幌東高等学校定時制「環境講座」

日時	所属	講師
6月26日（火）20：30～21：15	農食環境学群	押谷 一
7月 3日（火）20：30～21：15	農食環境学群	吉田 磨
7月10日（火）20：30～21：15	農食環境学群	中谷 暢文
10月16日（火）20：30～21：15	農食環境学群	星野 仏方
10月23日（火）20：30～21：15	農食環境学群	中谷 暢文
10月30日（火）20：30～21：15	農食環境学群	伊吾田 宏正
11月13日（火）20：30～21：15	農食環境学群	押谷 一
11月20日（火）20：30～21：15	農食環境学群	保原 達

#### 市立札幌開成中等教育学校「SSH先端科学持論」

日時	所属	講師
7月28日（土）	農食環境学群	金子 正美
8月25日（土）	農食環境学群	岩崎 智仁
	農食環境学群	長谷川靖洋
	農食環境学群	佐藤 元昭
	獣医学群	植田 弘美
	獣医学群	渡邊 敬文

#### 北海道岩見沢農業高等学校

日時	所属	講師
6月22日（火）	農食環境学群	押谷 一
	農食環境学群	船津 保浩
8月 8日（水）	農食環境学群	山口 昭弘
8月 9日（木）	農食環境学群	岩崎 智仁
8月21日（火）	農食環境学群	山口 昭弘
8月22日（水）	農食環境学群	岩崎 智仁
9月20日（木）	農食環境学群	中辻 浩喜

### 3. 中標津出張セミナー

中標津町の各団体と2015年2月23日に地域総合交流協定を締結しており、その事業の一つとして、中標津町やJA中標津、JA計根別、中標津町教育委員会と本学が共催で、酪農に関する日頃の課題や、町民の方々が興味を持っているテーマに応えるための「酪農学園大学出張セミナー」を、8月28日に中標津町のしるべつとコミュニティホールで開催し、午前の部**約100名**、午後の部**約30名**の参加がありました。

午前の部 「乾乳期・分娩移行期の飼養管理

～健康な子牛生産と健全な牛乳生産のために～

講師：中辻 浩喜

午後の部 「新・日本型食生活『乳和食』～ヨーグルトレシピのご紹介～」

講師：宮崎 早花



### 4. 動物愛護フェスティバル

江別市小動物開業獣医師会と本学が主催で、9月23日に「動物愛護フェスティバルinえべつ」を開催しました。

2018年度は「動物との楽しい暮らし」をテーマに、第一会場には21のブースを、第二会場には11のブースを設置し、**約5,500名**の方にご来場いただきました。

《イベントスケジュール》

第一会場	第二会場
ドッグダンスショー	ドッグアジリティーの実演と体験
セラピー犬模擬適正検査	クイズ大会
マイクロチップ挿入実演	ディスクドッグのデモンストレーション
ダンブル	わんわん運動会(ドギーダッシュ)
しつけ教室	





# ミルク産業活性化推進事業

## 1. プラスワン牛乳運動

### 健土健民牛乳・酪農アイス配布数

開催日	イベント	健土健民牛乳	酪農アイス
5月23日～25日	春の食生活改善週間	667本	—
7月 6日～ 7日	One World,One Health研究会セミナー	70本	70個
7月12日	乳和食キッチンカー	35本	—
7月13日	江別高校定時制訪問研修	—	60個
8月 2日～ 3日	ひらめき☆ときめきサイエンス	—	100個
9月 5日～ 6日	初年次教育学会第11回大会	125本	40個
10月24日～26日	秋の食生活改善週間	667本	—
11月25日	第37回吹奏楽団定期演奏会	100本	—
12月 8日	育種・作物学会北海道懇親会	30本	—
2019年1月24日	コープさっぽろ	5本	—
	合 計	1,699本	270個

## 2. ひらめき教室

本学で行っている教育、研究成果について、小学5、6年生を対象に、直に見る、聞く、触れることで、科学の面白さを感じてもらおうプログラムを、8月6日から7日までの1泊2日で開催し、**48名**が参加しました。

### プログラム

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| ◎1日目 講義 「ウシの体を知ろう」           | 岩野英知 |
| 「ウシの中で牛乳ができるまで、乳はなぜ白いのか」     | 樋口豪紀 |
| 「ウシのおなかの微生物を見てみよう」           | 岡本英竜 |
| 「バイ菌をやっつけろ」                  | 岩野英知 |
| 「獣医さんの一日」                    | 佐藤綾乃 |
| 調理実習                         | 石井智美 |
| ウシの乳しぼり体験                    | 泉 賢一 |
| ナイトレク                        | 浅川満彦 |
| ◎2日目 ウシのお医者さん体験・附属動物医療センター見学 | 加藤敏英 |
|                              | 安藤達哉 |
|                              | 大塚浩通 |



## 3. ミルク産業活性化推進事業（学類）

### 食と健康学類 栢原孝志講師

#### 「ナチュラルチーズ製造講習・実習セミナー」

ナチュラルチーズに関心があり、卒業後に何らかの形でチーズ製造に関わりたいと考えている本学学生を対象に、特別講義や製造実習を行う予定でしたが、9月6日の北海道胆振東部地震により開催を中止しました。

### 循環農学類 柴田啓介助教

#### 「本学トレーニングセンターを中心とした牛乳摂取推進の試み」

本学トレーニングセンターを中心として牛乳の消費拡大を目的とした3つの企画を実施しました。

##### 第1弾 「トレーニングセンターでトレーニング後に牛乳を飲もう！」

12月17日、18日、20日の3日間、トレーニングセンター入口に特設ブースを設置し、利用者に「健土健民牛乳」を100本配布しました。

##### 第2弾 「運動部活動所属の高校生を対象とした筋トレ講座」

1月12日に、運動部に所属する高校生を対象として、筋トレ講座を実施し、トレーニング後に参加者14名で「健土健民牛乳」を飲用しました。

##### 第3弾 「トレーニング後におすすめの牛乳を利用した筋肉料理コンテスト」

2月23日に、牛乳を利用した料理コンテストを開催しました。応募7品を「アイデア」「栄養」「作りやすさ」「費用」「見栄え」「おいしさ」の6項目を各5点満点で審査をし、最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞4点を選出しました。



### 獣医保健看護学類 郡山尚紀准教授

#### 「ゴマフアザラシ、トド、ネズミルカの乳汁に含まれる大切なホルモンと人工ミルクの改良」

3種類の海生哺乳類の人工ミルクの情報を動物園や水族館に提供する事で、人工哺育を成功させる事ができます。また、地球に住む多くの哺乳類がミルクを子の栄養源としているという事実を一般の方に広く啓蒙することを目的に、海生哺乳類のミルク成分の分析等の検査を実施しました。



# SDGs（持続可能な開発目標）の取り組み推進について

2019年2月12日付常任理事会において、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の取り組み推進が議決され、3月14日評議会において大学として承認されました。

今後は社会連携センターがSDGs担当部署として教職員への周知および研修会の開催等から具体的に進めていきます。

2019年度予定:

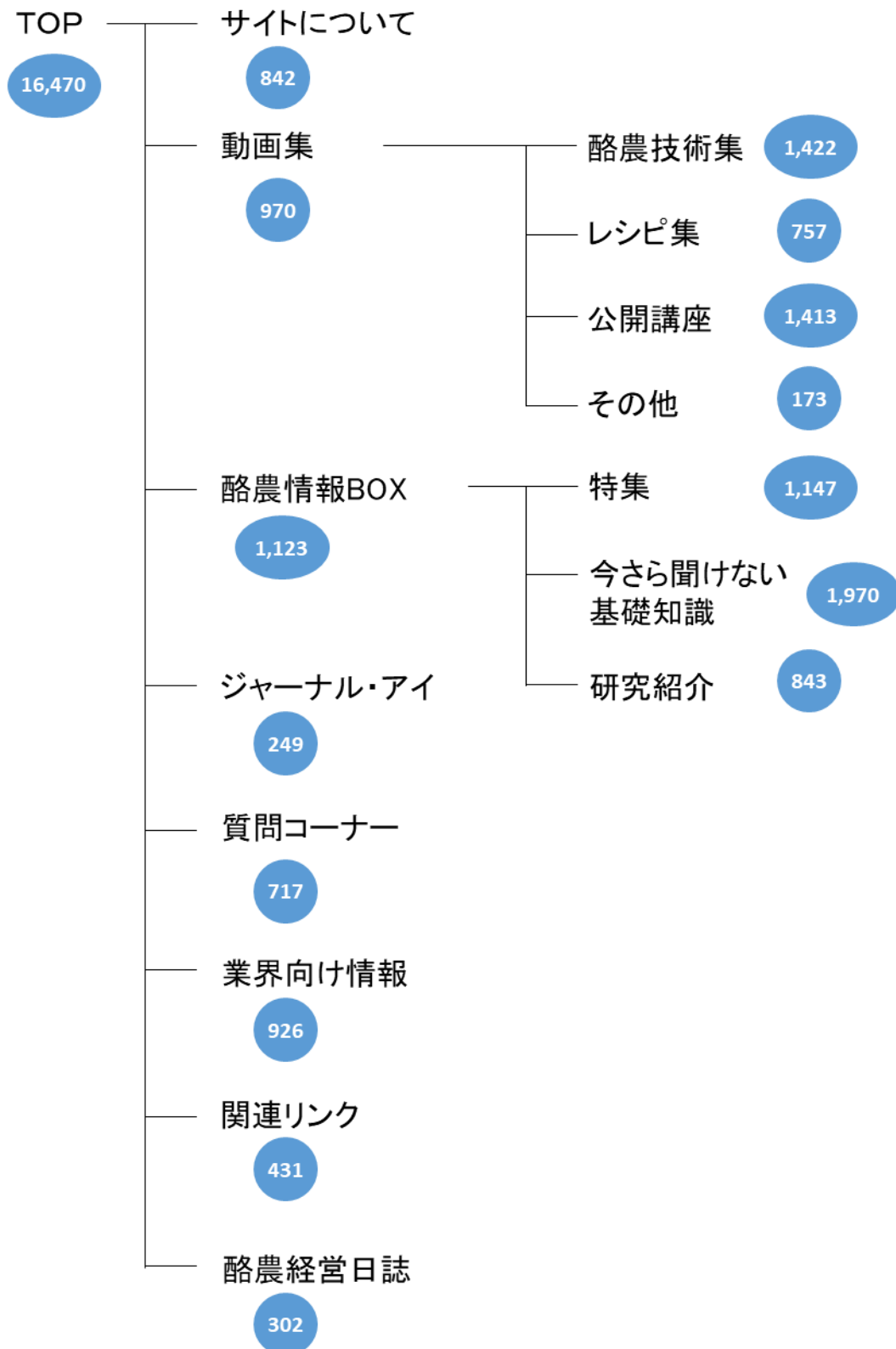
- ① 教職員への周知・SDGs理解促進のための研修会等の開催
- ② 学生への周知・SDGs理解促進
- ③ 各部署および教職員のこれまでの取り組み・業務を部署、所属別に集約
- ④ 集約されたデータを17の目標マッピング
- ⑤ マッピングされた内容を評議会に報告し、行動の優先順位を確定



- 目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標 2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標 4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
- 目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
- 目標 9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 目標 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する
- 目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- 目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- 目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
- 目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

## 1. ページ別アクセス状況

「今さら聞けない基礎知識」、「酪農技術集」、「公開講座」で閲覧数が多い傾向にあります。「特集」ページの閲覧数は多くありませんが、各記事の閲覧数は伸びていることから、トップページの「新着情報」もしくは「お知らせ・投稿記事一覧」ページから直接にアクセスしているユーザーが多いと考えられます。





専門性の高い酪農技術集、公開講座で閲覧数が多い傾向にあります。公開後トップページに表示されている期間が長かった「ロープ末端の処理」、「共進会での牛の引き方」、「抹茶ミルク」、「第53回酪農公開講座(森田先生)」は特に閲覧数が伸びました。

		掲載日	閲覧数
酪農技術集 1,422	ロープ末端の処理	(4/27)	464
	簡易頭絡	(4/27)	407
	共進会に向けた毛刈り～脚&肋編～	(7/18)	131
	共進会に向けた毛刈り～尾&トップライン編～	(7/26)	126
	共進会に向けた毛刈り～乳房編～	(8/7)	126
	共進会での牛の引き方	(8/10)	354
	モクシの作り方	(11/2)	346
	ロープの端に輪を作る	(1/22)	461
	杭に繋ぐ	(2/19)	231
	尾を結ぶ	(3/19)	167
	途中に輪を作る	(3/26)	126
レシピ集 757	抹茶ミルク	(4/27)	244
	アップルポムポム	(4/27)	117
	フレンチトースト	(6/1)	102
	リンゴミルク	(6/4)	143
	ミルクもちの作り方	(8/28)	52
	ミルクもちパフェの作り方	(8/28)	26
	フルーツ寒天パフェの作り方	(8/28)	20
	牛乳プリンの作り方	(8/28)	55
	牛乳寒天パフェの作り方	(8/28)	324
	牛乳ゼリーとリンゴのキャラメリゼパフェの作り方	(8/28)	58
	ギリシア風サラダの作り方	(9/28)	219
	ブラマンジェの作り方	(11/1)	171
	きなこミルクの作り方	(2/5)	161
	ドイツグラタンの作り方	(2/26)	118
	クルミミルクの作り方	(3/12)	129
公開講座 1,413	第51回酪農公開講座「草地の雑草対策」	(4/27)	138
	第51回酪農公開講座「乳牛の哺育育成のポイント」	(4/27)	206
	第53回酪農公開講座「自動搾乳システムの現在と未来～乳牛・改良・配慮～」	(4/27)	652
	第55回酪農公開講座「北海道150年と酪農の歴史～パイオニアと地上の星のスピリットを今に～」	(1/29)	314
	第55回酪農公開講座「スマート酪農の展開～飼料生産、乳生産の省力化、自動化～」	(2/12)	177
	第55回酪農公開講座「スマート酪農の展開～ドローンや衛星画像技術の農地管理への利活用について～」	(3/5)	153
その他 173	紫アスパラガスとトマトの個性を活かしたホテルレシピの開発	(6/19)	79

特集「乳房炎の原因と予防法」は、初心者向けの内容で搾乳手順などを紹介していることから閲覧数、PDFダウンロード数が伸びたと考えられます。今さら聞けない基礎知識「牛体測定」は、他のウェブサイトや書籍等でも取り上げられていない内容であることから閲覧数が伸びたと考えられます。

		掲載日	閲覧数	DL数
特集 1,147	— 草地の土づくり	(4/27)	778	19
	— 飼料給与と栄養管理	(4/27)	1187	38
	— 泌乳と搾乳の生理	(4/27)	451	21
	— 牛の繁殖生理	(4/27)	1047	27
	— 乳房炎の原因と予防法 —病気の特徴と基本的な搾乳衛生—	(4/27)	1235	49
	— 草地の土づくり—維持管理—	(10/8)	363	9
	— 高泌乳牛管理の注意点とその栄養について	(10/16)	1050	34
	— 環境にやさしい牛の飼い方とは—ルーメン環境を最適化すると環境負荷は低減する—酪農経営を継続させるための繁殖のポイント —繁殖で悩んだときの解決のポイント教えます—	(11/13)	562	17
今さら聞けない 基礎知識 1,970	— 牛体測定	(4/27)	1452	33
	— 乳牛の飼養形態	(4/27)	570	14
	— 飼料の種類	(4/27)	582	26
	— 乳牛のステージ別呼称	(6/4)	685	47
	— 牛の呼称(英語編)	(6/26)	548	8
	— 乳牛の基本情報 ~採食量・排泄量・泌乳量~	(7/6)	730	29
	— ホルスタイン共進会	(7/30)	505	10
	— 消毒薬の種類	(2/18)	264	3
	— 乳牛の基本情報 ~歯~	(2/25)	115	24
	— 牛乳の種類	(3/14)	173	8
— 牛乳の殺菌方法	(3/20)	58	1	
研究紹介 843	— 北海道の公共牧場における牛消化管内寄生虫の感染状況と駆虫対策の実態	(6/12)	339	10
	— 乳牛への飼料米給与が飼料摂取量、乳生産および牛乳の脂肪酸組成と“おいしさ”に及ぼす影響	(7/12)	336	9
	— 離乳前後の子牛の管理について	(2/14)	732	23
ジャーナル・アイ 249	— 蹄が分かれ、反すうする牛は“清い動物”	(11/2)	90	
	— 聖書において最も重要な動物は“牛”	(12/5)	81	
	— 神の前に謙虚であることが 牧畜に携わる人々の美德である	(1/8)	40	
	— 「愛と感謝」をもって動物利用をするべき	(2/6)	31	
	— 避けて通れない「動物倫理」と「5つの自由」	(3/4)	42	
質問コーナー 717	— 人工授精がうまくいかない場合どうすればよいですか？	(1/9)	167	
	— 牛乳は太るって本当？	(1/31)	106	
	— 乳牛は1頭いくらで買えますか？	(2/8)	86	
	— 「アニマルウェルフェア」って何ですか？	(2/13)	268	
	— 運動後何分以内に牛乳を飲むと筋肉がたくさん作られるのですか？	(2/15)	108	
	— 筋肉をたくさん作るためには牛乳が良いと聞きましたが、乳製品でも良いのでしょうか？	(2/15)	59	
	— 牛は乳癌にならないのでしょうか？	(2/20)	131	
	— 粉ミルクは何倍希釈で与えるのが通常なのでしょうか？	(2/21)	82	
	— 鳥インフルエンザはよく聞きますが、牛や豚、馬や羊は感染しないのでしょうか？	(2/22)	33	
	— 次亜塩素酸水は酪農の現場でも使われていますか？	(2/27)	59	
	— ヨーグルトメーカーで作ったヨーグルトの成分は、元のヨーグルトと同じですか？	(2/28)	55	

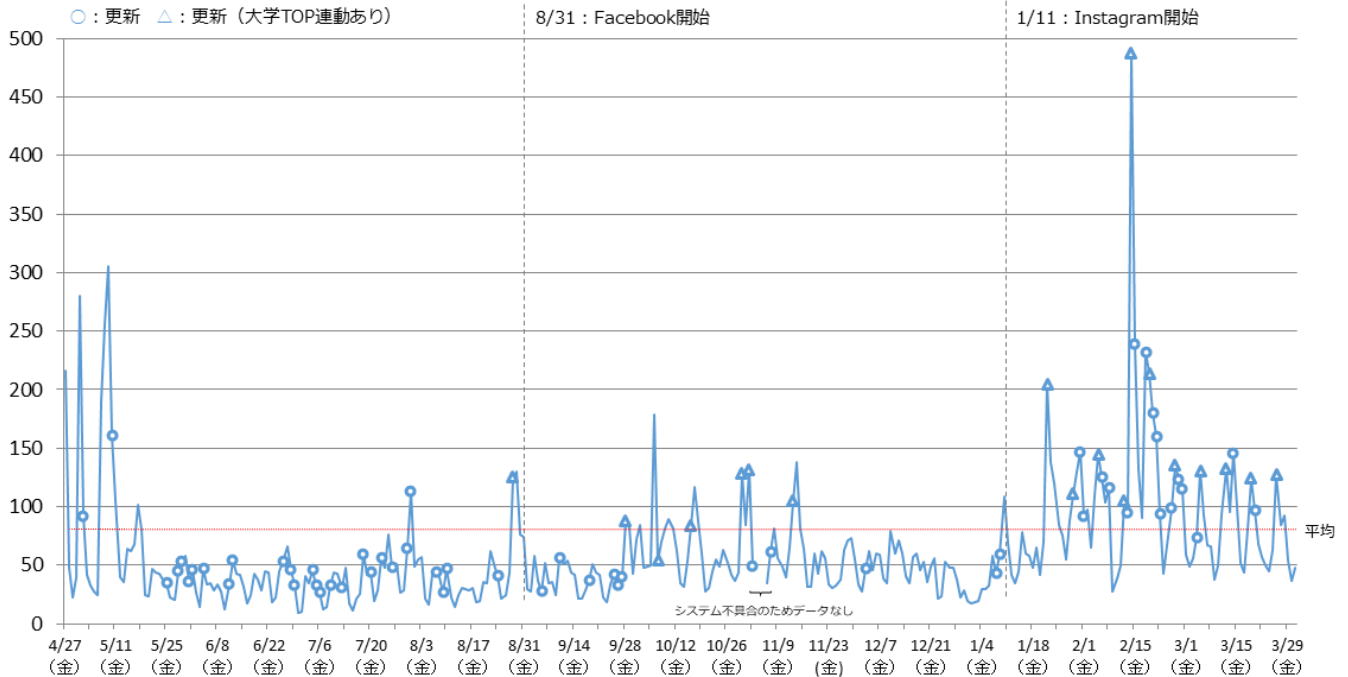
マスコットキャラクターのデザイン募集についての投稿は、「公募ガイドONLINE」に掲載されたことで閲覧数が伸びたと考えられます。共進会結果は出品頭数が多い大会で閲覧数が伸びる傾向にあります。

		掲載日	閲覧数
お知らせ 投稿一覧 1,186	Webサイトを公開しました！	(4/27)	138
	韓国において口蹄疫が発生しています	(4/27)	203
	マスコットキャラクターのデザインを募集します	(5/2)	642
	第20回反芻動物の国際蹄病学会の開催について	(5/10)	164
	第34回国際農業機械展in帯広の開催について	(5/31)	64
	2018年度大動物継続教育合同セミナーを開催しました	(5/31)	49
	今日はWorld Milk Day(世界牛乳の日)です！	(6/1)	47
	第30回世界牛病学会2018札幌の開催について	(6/21)	230
	生産動物セミナーの開催について	(7/4)	61
	夏季休暇期間中における口蹄疫等の防疫対策の徹底について	(7/20)	55
	第34回国際農業機械展in帯広が開催	(7/23)	79
	酪農PLUS+のマスコットキャラクターが決定しました！	(7/31)	282
	第55回酪農公開講座の開催について	(8/9)	130
	【注意喚起】台風21号及び平成30年北海道胆振東部地震に伴う営農技術対策について	(9/10)	111
	第42回大動物臨床研究会シンポジウムの開催について	(10/8)	78
	『酪農経営日誌』販売終了のお知らせ	(11/7)	155
	韓国において口蹄疫が発生しています	(2/1)	21
共進会一覧 163	第43回陸中ホルスタインブラック&ホワイトショウ	(5/25)	67
	第39回岩手県沿岸ブラック&ホワイトショウ	(5/25)	66
	第43回後志ブラック&ホワイトショウ	(5/28)	57
	2018年道北ブラックアンドホワイトショウ	(5/29)	171
	第38回石狩スプリングショウ	(6/11)	103
	第49回十勝ブラックアンドホワイトショウ	(6/28)	118
	2018年北海道ブラックアンドホワイトショウ	(6/29)	174
	第52回根室市ホルスタイン共進会	(7/9)	133
	平成30年度江別市ホルスタインショウ	(8/24)	97
	第64回道南畜産共進会	(9/5)	69
	第60回上川管内総合家畜共進会(乳用牛の部)	(9/18)	58
	第49回十勝総合畜産共進会(乳用牛の部)	(9/25)	143
	平成30年根室ホルスタイン共進会	(9/26)	98
	第68回北見管内総合家畜共進会(乳牛の部)	(9/27)	101
	2018日胆畜産共進会(乳用牛の部)	(9/28)	84
	第53回道央酪農祭ホルスタイン共進会	(10/11)	101
	第61回洋野・新岩手ホルスタインショウ	(10/22)	47
第28回栃木県ホルスタイン共進会	(11/1)	40	

## 2. 日別アクセス状況

■ 総アクセス数 20,840

■ 日平均アクセス数 62 ■ 日最高アクセス数 487(2/14 研究紹介「離乳前後の子牛の管理」公開日)



## 3. 地域別アクセス状況

人口が多い都府県、市町村からのアクセスが多いですが、福島県をはじめとする東北地方、栃木県、熊本県、中標津町など酪農が盛んな地域からのアクセスも多い傾向にあります。

### ■ 国別

	国名	ユーザー数
1	日本	12,639
2	アメリカ	959
3	(不明)	67
4	台湾	32
5	韓国	21
6	オーストラリア	16
7	インド	14
8	中国	11
9	タイ	9
10	ニュージーランド	8

### ■ 都道府県別

	都道府県名	ユーザー数
1	北海道	3,936
2	東京都	3,327
3	大阪府	1,332
4	神奈川県	1,183
5	愛知県	352
6	福島県	230
7	宮城県	214
8	兵庫県	198
9	埼玉県	196
10	千葉県	193

### ■ 市町村別

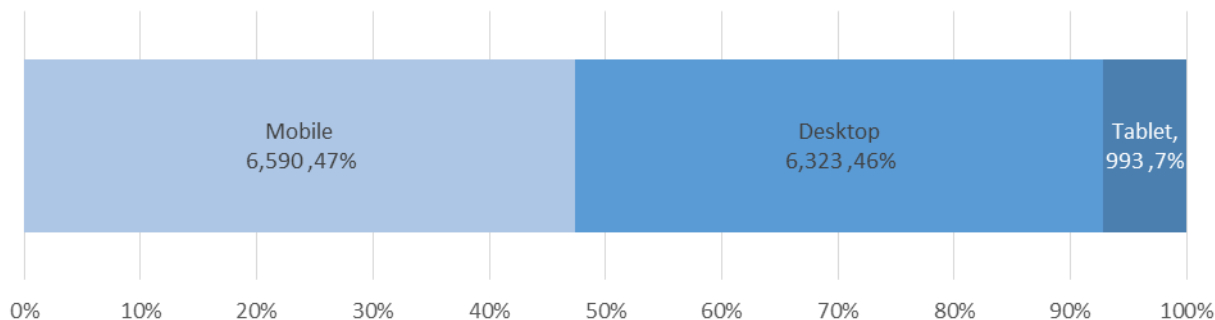
	市町村名	ユーザー数
1	札幌市	2,325
2	新宿区	1,286
3	大阪市	1,260
4	横浜市	1,017
5	港区	946
6	江別市	721
7	中央区	404
8	(不明)	277
9	名古屋市	267
10	千代田区	209

### ■ 道内市町村別

	市町村名	ユーザー数
1	札幌市	2,325
2	江別市	721
3	帯広市	194
4	旭川市	94
5	恵庭市	77
6	北見市	45
7	中標津町	43
8	富良野市	42
9	釧路市	41
10	函館市	34

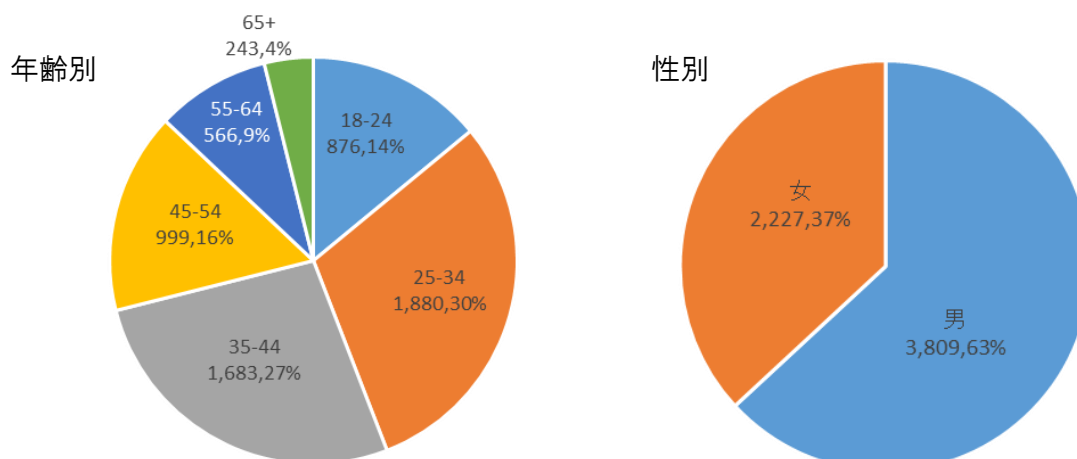
## 4. デバイス別アクセス状況

Facebook開始前までは「Desktop」が最も多く51%でしたが、Facebook開始後「Mobile」、「Tablet」の割合が上昇し、「Mobile」が最も多くなりました。



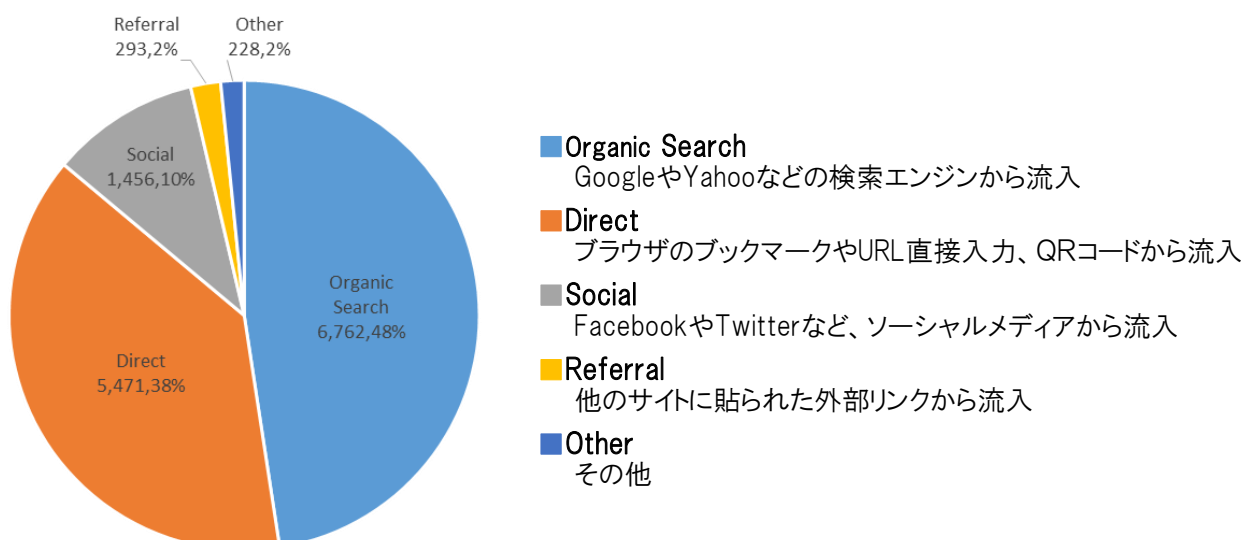
## 5. 年齢・性別アクセス状況

20～40代男性がメインユーザーとなっています。ターゲットの一つに定めている18～24歳(大学生・大学院生)の割合が低いため、認知度を向上させる必要があります。



## 6. 流入経路別アクセス状況

開設後2～3カ月は「Direct」が最も多く60%近くを占めていましたが、Facebook開始後は「Organic Search」、「Social」の割合が増加しました。





# 7. SNS投稿内容一覧

研究紹介「離乳前後の子牛の管理」や基礎知識「消毒薬の種類」、ロープワーク動画など、専門性の高い投稿でリーチ数(閲覧数)が伸びる傾向にあります。また、健土健民牛乳の写真を使用した「健土健民牛乳紹介」、基礎知識「牛乳の種類」に対してはOBから多くのいいね!とコメントが寄せられました。

投稿日	内 容	投 稿			
		リーチ	いいね!	シェア	大学シェア
8/31	Facebook始めました	177	3	3	○
	サンディー紹介	135	3	1	○
9/3	写真(簡易頭絡撮影風景)	98	4	1	
9/11	北海道胆振東部地震お見舞い	49	0	0	
	第17回北海道総合畜産共進会「乳用牛部門」開催中止	54	0	0	
9/12	台風21号・北海道胆振東部地震 特別相談窓口案内	55	2	0	
9/13	「第55回酪農公開講座(札幌)」案内	1,223	4	3	○
9/26	「第55回酪農公開講座(札幌)」酪農PLUS+ブース案内	1,155	4	1	○
9/27	写真(デントコーン収穫)	1,920	13	2	○
	動画(デントコーン収穫)	2,434	16	8	○
9/28	レシピ集「ギリシア風サラダ」	1,386	6	1	○
9/29	写真(道東出張)	1,442	12	1	○
10/8	特集「草地の土づくりー維持管理ー」(三枝先生)	1,558	8	1	○
10/15	写真(モクシ動画撮影風景)	1,974	5	4	○
10/17	特集「高泌乳牛管理の注意点とその栄養について」(中辻先生)	1,326	6	1	○
10/23	書籍紹介「乳牛群の健康管理のための環境モニタリング」	1,243	12	2	○
10/30	特集「環境にやさしい牛の飼い方とは」(泉先生)	1,478	17	3	○
	写真(ハロウィーン 予告)	1,311	10	2	○
10/31	写真(ハロウィーン ランチ中)	129	10	1	
	写真(ハロウィーン)	1,472	8	2	○
11/1	レシピ集「ブラマンジェ」	1,157	8	1	○
11/2	酪農技術集「モクシの作り方」	1,850	10	2	○
11/8	「酪農経営日誌」販売終了	1,390	10	1	○
11/13	特集「酪農経営を継続させるための繁殖ポイント」(中田先生)	1,665	14	2	○
11/21	「筋肉料理コンテスト」案内	1,980	16	8	○
11/29	「酪農経営日誌」特設ページ案内	1,424	8	2	○
12/5	「第56回酪農公開講座(岩手)」案内	958	8	2	○
12/10	写真(雪の中のサンディーと牛)	1,902	13	1	○
12/20	写真(牛グッズ)	109	7	0	
12/26	健土健民牛乳紹介	3,319	65	12	○
1/1	新年あいさつ	1,835	9	1	○
1/10	質問コーナー「人工授精で種がつかない」	141	8	1	
1/11	写真(サンディーぬいぐるみ)	113	11	0	
1/21	牛グッズ(Instagram)	1,279	8	1	○
1/22	酪農技術集「ロープの端に輪を作る」	2,074	24	3	○
1/24	牛グッズ(Instagram)	112	12	0	
1/26	牛グッズ(Instagram)	111	8	0	
1/30	第55回酪農公開講座「北海道150年と酪農の歴史」(安宅先生)	1,267	11	1	○
1/31	質問コーナー「牛乳は太る？」	1,464	9	4	○
2/4	牛グッズ(Instagram)	114	8	0	
2/5	レシピ集「きなこミルク」	1,641	9	1	○
2/8	写真(サンディーと温度計)	115	6	0	
	質問コーナー「乳牛は1頭いくらで買える？」	131	10	0	
2/12	第55回酪農公開講座「スマート酪農の展開」(小宮先生)	161	10	0	
2/13	質問コーナー「アニマルウェルフェアってなんですか？」	159	8	0	
2/14	研究紹介に「離乳前後の子牛の管理について」	4,684	61	12	○
2/15	質問コーナー「運動後何分以内に牛乳を飲むといい？」	1,264	11	4	○
	質問コーナー「筋肉をたくさん作るためには乳製品でも良い？」	1,386	7	3	○
2/18	今さら聞けない基礎知識『消毒薬の種類』	2,630	32	7	○
2/19	酪農技術集「杭に繋ぐ」	1,458	28	1	○
2/20	質問コーナー「牛は乳癌にならない？」	1,595	16	3	○
2/21	質問コーナー「粉ミルクは何倍希釈？」	386	13	1	
2/22	質問コーナー「鳥以外もインフルエンザにかかる？」	149	10	0	
2/25	今さら聞けない基礎知識『乳牛の基礎知識～歯～』	1,541	16	2	○
2/26	レシピ集「ドイツグラタン」	1,103	12	1	○
2/27	質問コーナー「次亜塩素酸水は酪農現場でも使われている？」	164	9	0	
2/28	質問コーナー「ヨーグルトメーカーで作ったヨーグルトは元と同じ？」	169	14	0	
	第55回酪農公開講座「スマート酪農の展開②」(小川先生)	920	16	1	○
	千葉出張(サンディー海を渡る)(Instagram)	1,231	19	1	○
	千葉出張(スカイツリーとサンディー)(Instagram)	1,048	17	1	○
	千葉出張(着ぐるみとサンディー)(Instagram)	1,189	16	1	○
	千葉出張(サンディー海に目覚める)(Instagram)	169	11	0	
	千葉出張(花よりサンディー)(Instagram)	173	19	0	
	千葉出張(サンディー海を走る)(Instagram)	192	20	0	
	酪農学園OB紹介(Yahoo!ニュース)シェア	223	23	1	
3/8	クリアファイル完成	1,560	25	1	○
3/12	レシピ動画「カルミミルク」	219	23	1	
3/13	サンディー号納車	360	74	2	
3/14	今さら聞けない基礎知識「牛乳の種類」	3,274	65	11	○
	車動画	1,967	28	2	○
3/19	酪農技術集「尾を結ぶ」	1,791	42	2	○
3/20	基礎知識「牛乳の殺菌方法」	292	48	2	
3/26	酪農技術集「ロープの途中に輪を作る」	270	32	2	

## 8. 共進会協賛状況

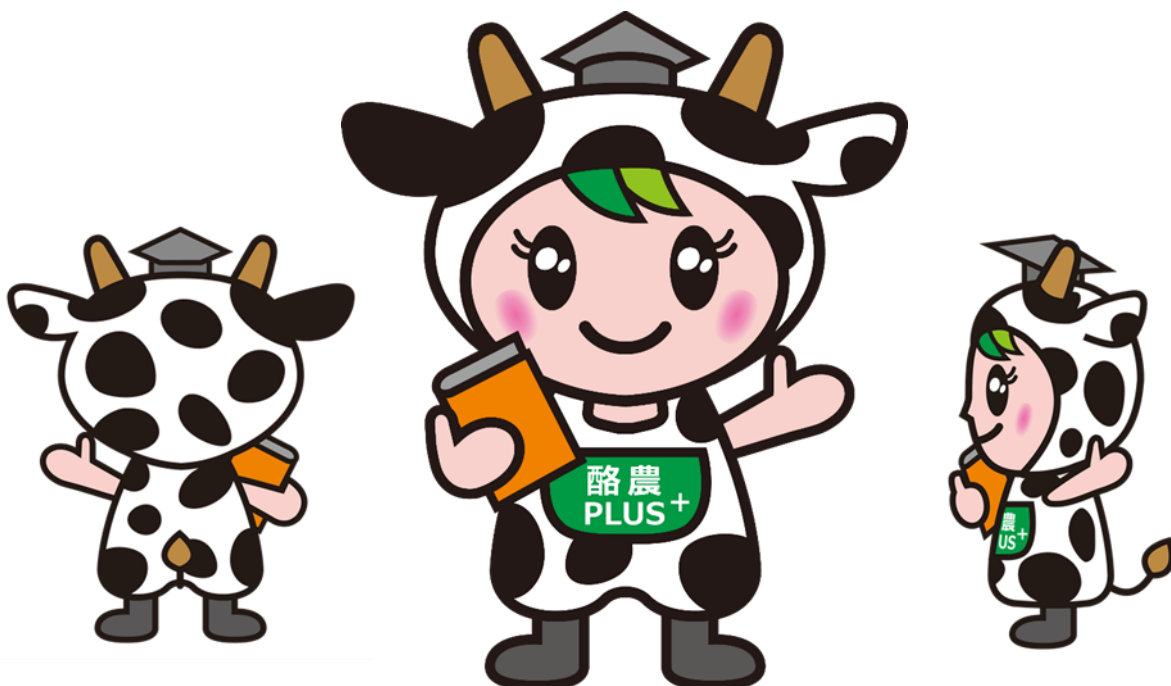
地区	共進会名	協賛内容	開催日
全日本	全日本B&Wショウ (5年毎・西暦末尾が3と8の年)	広告料:30,000円 副賞:3セット	依頼なし
北海道	北海道B&Wショウ	広告料:30,000円	5/26-27
	北海道総合畜産共進会 (4年毎)	広告料:51,840円 副賞:4セット	胆振地震のため中止 〔 広告料返金 〕 〔 副賞は次年度へ 〕
石狩	石狩スプリングショウ	協賛金:10,000円	5/19
	江別市ホルスタイン共進会	賞品カップ:3,000円	7/22
	道央酪農祭ホルスタイン共進会	副賞:2セット	8/23
後志	後志B&Wショウ	副賞:2セット	4/28
日高	日胆畜産共進会	副賞:2セット	8/26
渡島	道南畜産共進会	副賞:2セット	8/22
上川	上川管内総合家畜共進会	副賞:2セット	8/18
留萌			
宗谷	道北B&Wショウ	副賞:2セット	5/12
オホーツク	北見管内総合家畜共進会	副賞:2セット	8/25
	西紋B&Wショー	協賛金:10,000円	4/28
	JAオホーツクはまなす乳牛・肉牛共進会	副賞:2セット	6/2
十勝	十勝B&Wショウ	副賞:2セット	5/13
	十勝総合畜産共進会	副賞:2セット	8/18
根室	根室ホルスタイン共進会	副賞:2セット	8/19
	根室市ホルスタイン共進会	副賞:2セット	6/7
東北地方			
岩手県	岩手県沿岸ホルスタイン共進会	副賞:2セット	10/6
	岩手県沿岸B&Wショウ	副賞:2セット	4/28
	洋野・新岩手ホルスタインショウ	副賞:2セット	9/8
	陸中ホルスタインB&Wショウ	副賞:2セット	4/7
関東地方			
栃木県	栃木県ホルスタイン共進会(栃木県酪農フェア)	副賞:2セット	10/13
		計	22件

副賞内容:クリアマジック2本・ブラックマジック1本/セット

## 9. 酪農PLUS+マスコットキャラクター「サンディー」

マスコットキャラクター決定までの経緯

- 2017年12月 募集開始(応募資格は酪農学園関係者のみ)
- 2018年 1月31日 募集締め切り(応募総数10作品)
  - 2月 8日 編集会議で応募資格を限定せず再募集することを決定
  - 5月 2日 再募集開始
  - 6月29日 募集締切(応募総数48件)
  - 7月13日 編集会議で3作品に絞り込み
  - 7月18日 竹花学長による最終決定
  - 7月30日 表彰式



- 名 前 サンディー
- 由 来 サン(太陽・日の出)+デュー(酪農・エブリー)
- 性 格 とても明るくて、いつもハイテンション  
いつでもどこでも目立つ人気者
- コンセプト 牛をモチーフとし大学帽をかぶり、辞書を持ち、酪農PLUS+のロゴが入った  
つなぎ服を着て酪農学園大学らしさと酪農PLUS+を表現しています
- 作 者 静岡県静岡市在住 グラフィックデザイナー あまの ほづみ 天野 穂積氏





## 2018年度 社会連携センター運営委員会

社会連携センター センター長	金子 正美
社会連携センター 副センター長	萩原 克郎
社会連携センター 副センター長	石井 智美
農食環境学群 循環農学類 教授	泉 賢一
農食環境学群 食と健康学類 講師	小林 道
農食環境学群 環境共生学類 准教授	吉中 厚裕
獣医学群 獣医保健看護学類 准教授	郡山 尚紀
社会連携センター 事務次長	高山 基樹
社会連携センター 地域連携課 課長	後藤 哲也
社会連携センター 国際交流課 課長	横川 容子
社会連携センター 地域連携課 課長補佐	木村 英司（陪席）

※2018年度は全8回の運営委員会を開催しました。

## 2018年度 社会連携センター STAFF

センター長	金子 正美
副センター長(国際交流課担当)	萩原 克郎
副センター長(地域連携課担当)	石井 智美
事務次長	高山 基樹
国際交流課 課長	横川 容子
国際交流課 主任主事	柿崎 明子
国際交流課 主任主事	品川 晴香
国際交流課 パート職員	アルドゥ 直子
地域連携課 課長	後藤 哲也(～9月30日)※学生支援課へ異動 高山 基樹(10月1日～)※兼務
地域連携課 課長補佐	木村 英司
地域連携課 主任主事	奥寺 好子(～9月30日)※学務課へ異動
地域連携課 主事補	植松 正平
地域連携課 契約職員	中井 亜希子
地域連携課 契約職員	中屋 まりな
地域連携課 パート職員	坂本 千尋



酪農学園大学社会連携センター  
2018年度 事業報告

